

株式会社テイツー (JASDAQ7610)

---

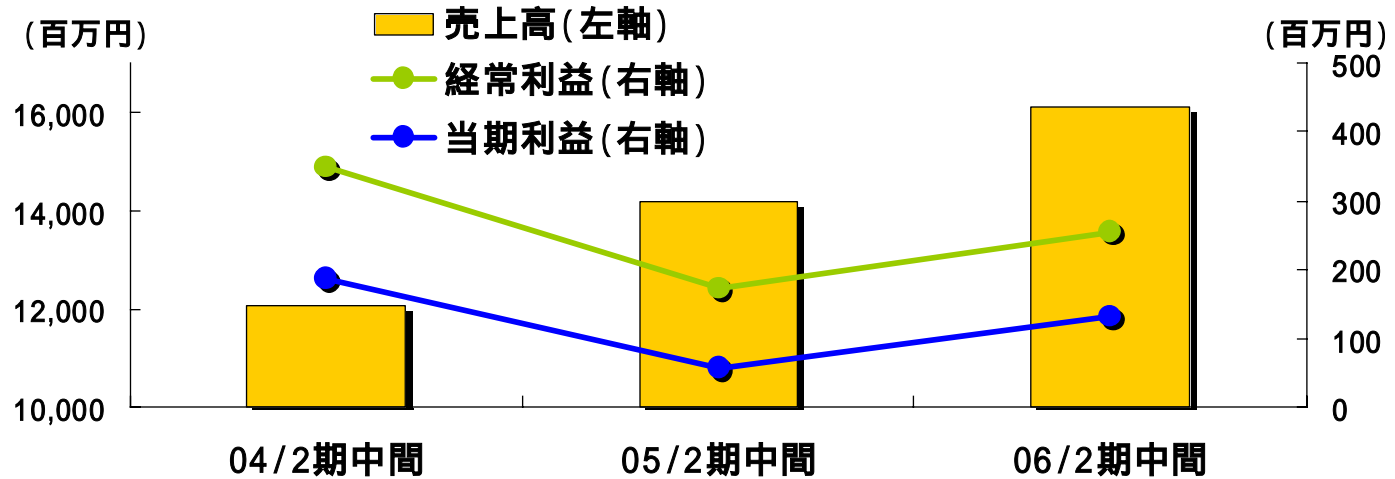
2006年2月期 中間期

決算説明会

# TAY TWO

2006年2月期 中間期  
事業セグメント別概況

# 2006年2月期 中間期サマリー



(百万円)

	2004年2月期 中間期	2005年2月期 中間期	2006年2月期 中間期
売上高	12,096	14,200	16,107
経常利益	350	174	255
当期利益	187	58	131

■前期対比、大幅増収増益を達成

# 古本市場事業概況

	05/2期中間	06/2期中間	前期比
売上高	13,566百万円	14,566百万円	+7.4%
営業利益	627百万円	785百万円	+25.1%

## 店舗競争力の強化に向けた各種施策を実施

(1) 店舗レイアウトの変更

CD売場を縮小し、DVD・ゲーム売場を拡充

(2) 店舗オペレーションの強化

オペレーションマニュアルの更新等による売場作りの強化(商品陳列等)

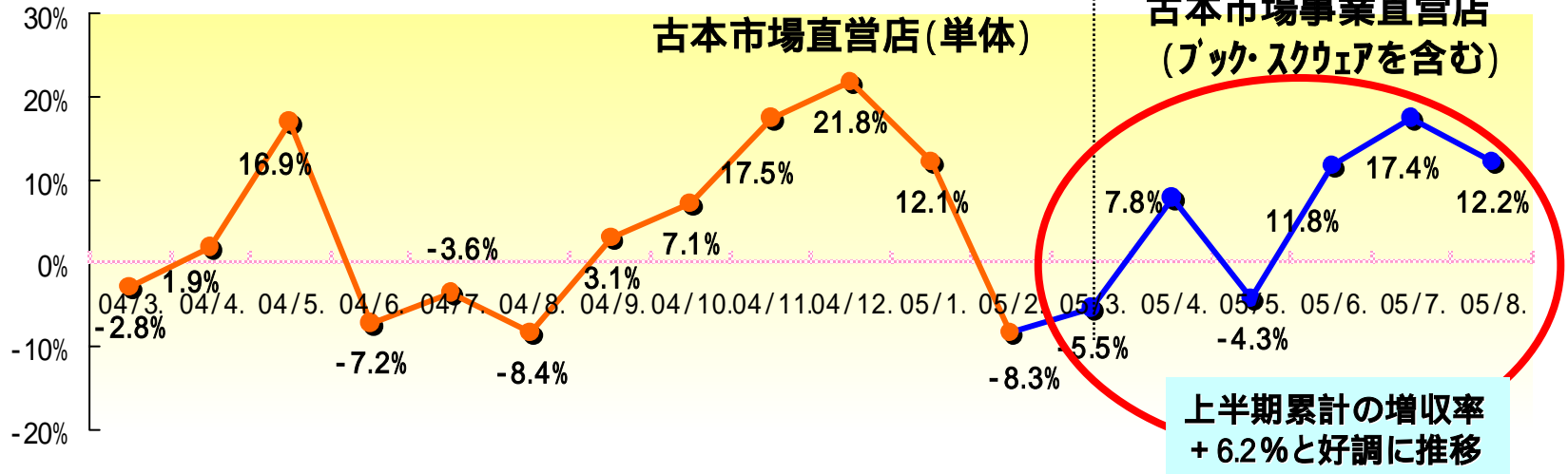
(3) 販促活動の強化

- ・「ふるいち探検隊キャンペーン1 & 2」の実施 (7/21 ~ 8/31)
- ・レジトーク、手書きPOP等による売場アピール

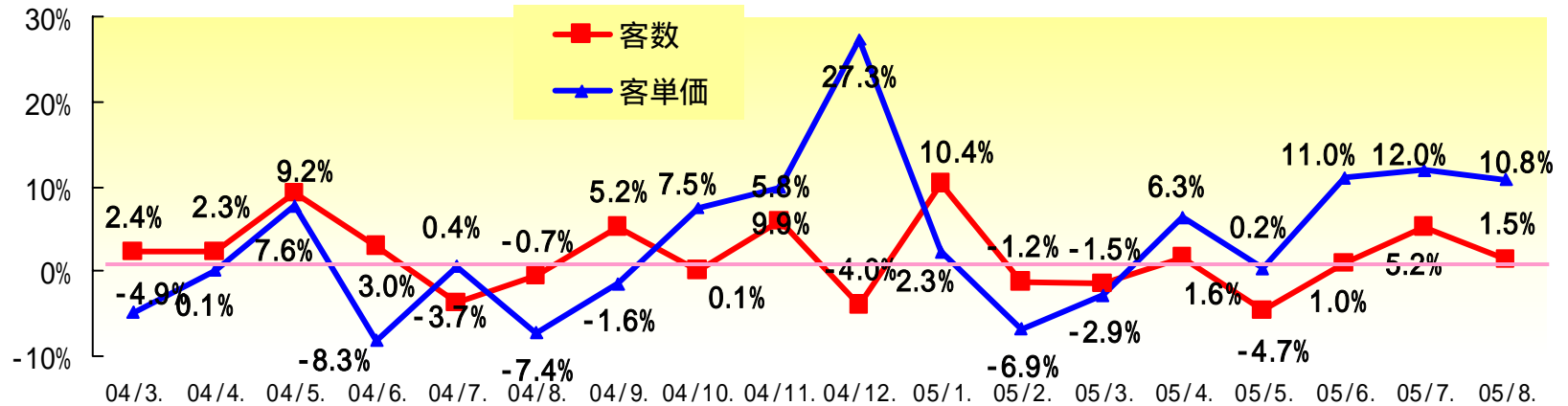
下半期からは、店年齢の高い店舗の改装工事に着手

# 既存店月次増減率推移

## 古本市場事業直営店(既存店)売上高増減率

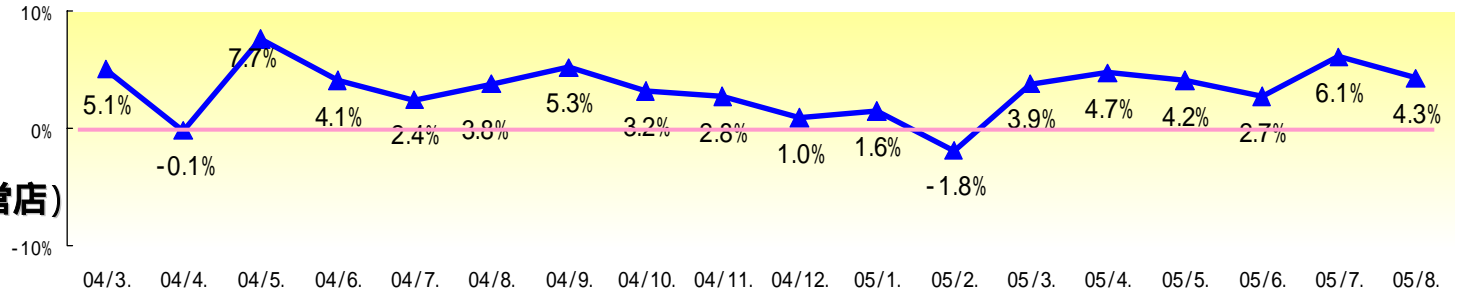


## 古本市場直営店(既存店)客数・客単価増減率

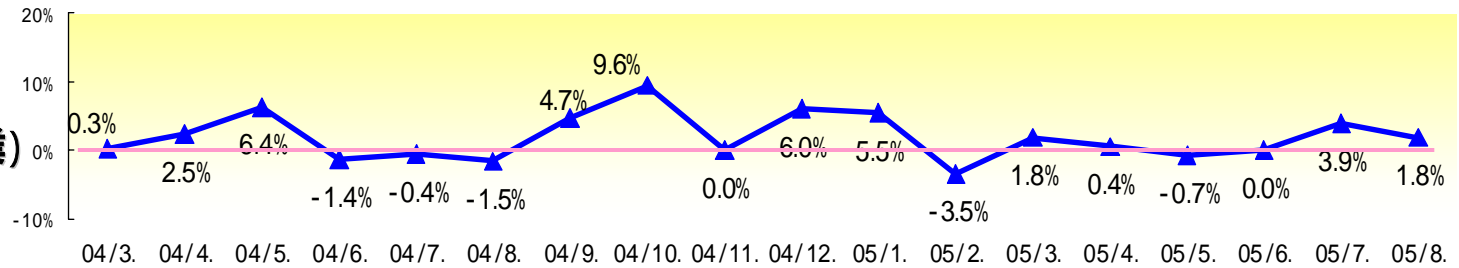


# 同業他社既存店増減率推移

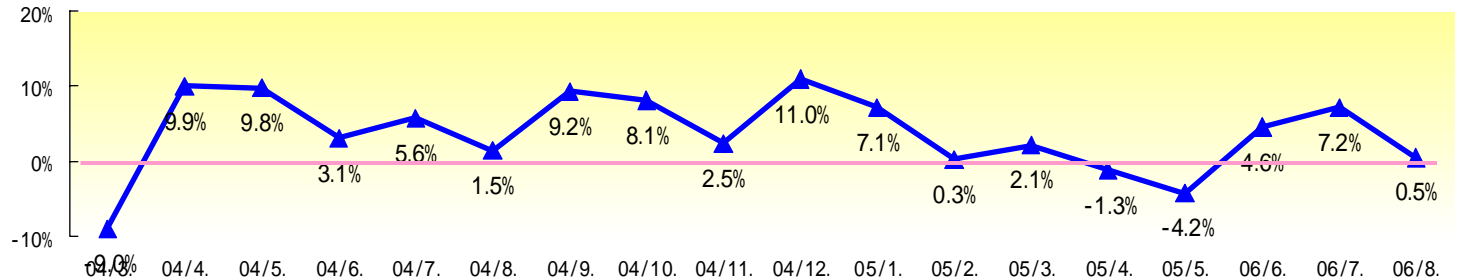
**B 社**  
(古本事業直営店)



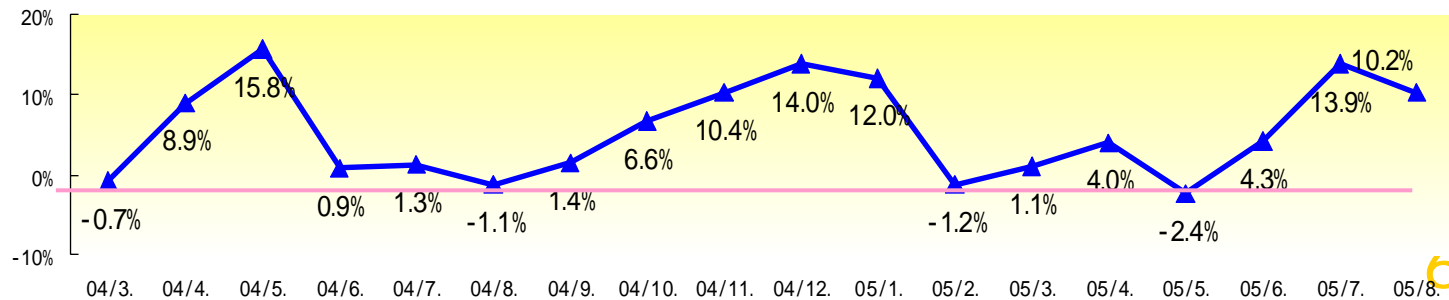
**F 社**  
(リサイクル事業)



**C 社**



**G 社**

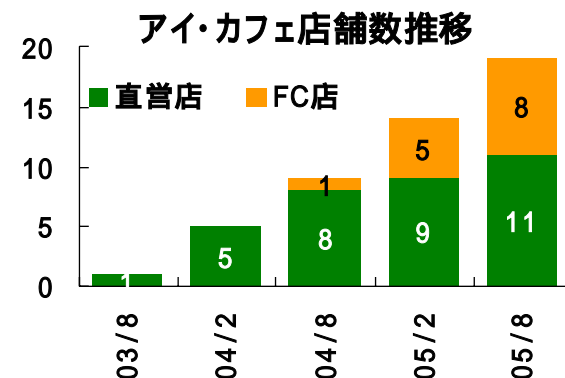


# アイ・カフェ事業概況

	05/2期中間	06/2期中間	前期比
売上高	417百万円	1,302百万円	+212.1%
営業利益	133百万円	101百万円	-

## 1. アイ・カフェFC店の出店拡大

- FC店3店舗を出店し、中間期末のFC店舗数は8店舗に
- FC店の大量出店に向けた社内体制を構築
  - オープンサポート担当の設置
  - 出店、店舗運営関係業務のマニュアル化



## 2. 顧客サービスの向上

- ネットゲーム席のPCのスペックアップ
- 映像コンテンツ配信サービスの拡充
  - ✓ オンデマンドテレビ「でじゃ」
  - ✓ 楽天イーグルス スーパーインターネットライブ
  - ✓ バンダイチャンネル

店舗競争力の向上



紀の川店(FC店)  
9/23オープン

札幌センチュリーロイヤルホテル店(直営店)

# アイ・カフェ事業の進展

## 3. インターピア、好調に推移

### ・Necca-Manager System Solution

ネットカフェ向け店舗運営管理システム

ネットカフェ市場の拡大により、  
納入数が増加

### ・C-Manager

コンテンツメーカー向けWeb課金・課金システム

コンテンツメーカー向け営業強化

### ・Log-Manager

ネットカフェの運営本部向け店内PCの  
ログ管理システム

サービス開始に向け検討中

### ・本部機能システム

多店舗展開を行うネットカフェの運営本部向け  
本部管理システム

デジタルコンテンツ  
流通・決済システ  
ムの確立

フランチャイザー等、  
ネットカフェの運営本  
部向けに販売を強  
化

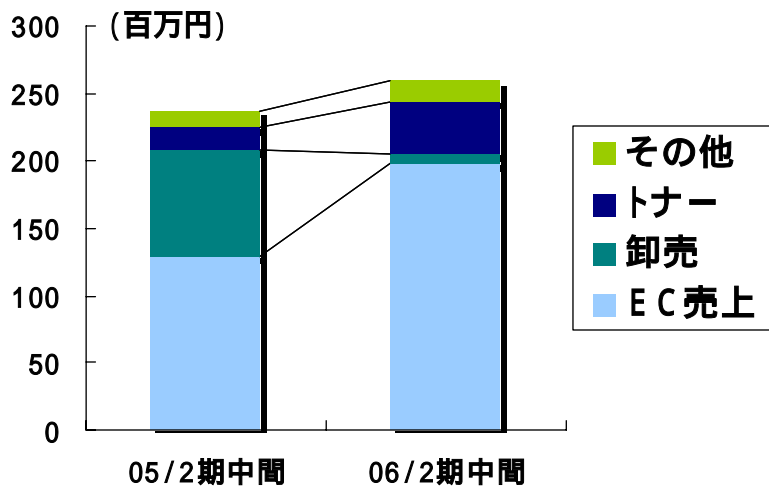
ファイアウォールの徹底を図る



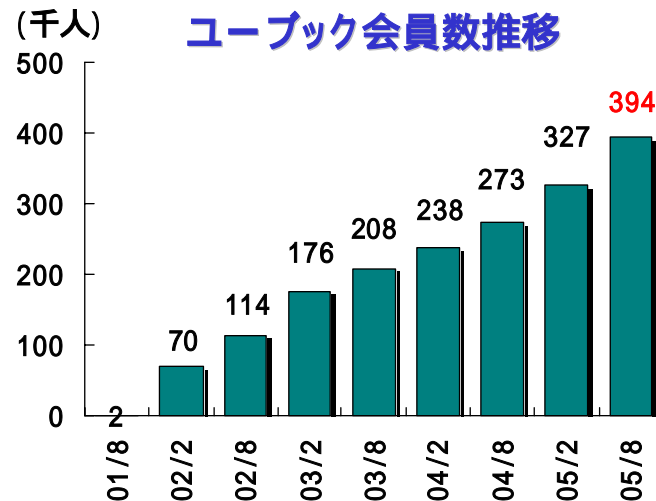
# EC事業概況

	05/2期中間	06/2期中間	前期比
売上高	216百万円	238百万円	+10.3%
営業利益	5百万円	2百万円	-

(株)ユーブック売上構成推移



ユーブック会員数推移



- 卸売を縮小する一方、EC売上・トナー販売が順調に伸張

- 販売チャネルの拡大に伴い、継続して高い会員増加率を維持

## 下期のEC事業成長に向けた布石

### 上期の状況

- 携帯電話3キャリアのショッピングメニューカバー
- Yahoo!ショッピングモールへの出店

- アクセス数増加、ユーザーの利便性に向けたシステム増強投資

- 更なるサービス拡充を目的とした販促施策の展開
  - 無料配送キャンペーン

売上の拡大

「成長を目的とした販売費用」増加

営業赤字計上

### 下期の方向性

- 上期における先行投資・施策効果を確実に刈り取るため、「既存顧客の更なる満足度向上」と「新規顧客へのアピール力向上」を企図
- 取扱商材のラインナップ拡充を計画

# 東京本部の新設

## 東京本部新設の狙い

所在地 東京都港区芝公園2 - 4 - 1 秀和芝パークビルA館8F

- ▶ ティーグループ内の連携強化
- ▶ 社内外のコミュニケーションの強化
- ▶ 業務効率化



秀和芝パークビル

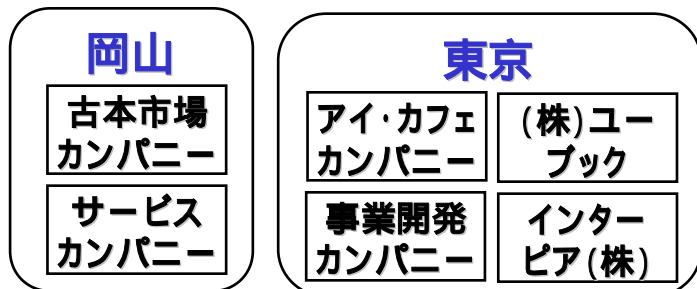


オフィス内

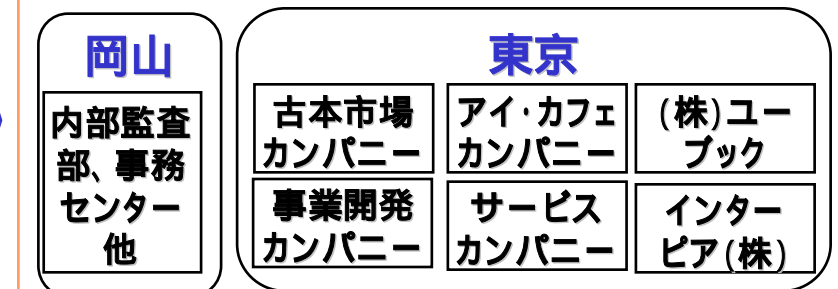


エントランス

### これまで(東京・岡山二極体制)



### これから(東京集約体制)



# TAY TWO

2006年2月期 中間期  
決算説明

# 2006年2月期 中間期 対前年比較

## 【連結損益計算書】

(百万円)

	2005年2月期 中間期(04/3~8)		2006年2月期 中間期(05/3~8)		前期比
売上高	14,200	100.0%	16,107	100.0%	13.4%
売上原価	10,020	70.6%	11,596	72.0%	15.7%
売上総利益	4,179	29.4%	4,510	28.0%	7.9%
販売費一般管理費	4,005	28.2%	4,250	26.4%	6.1%
営業利益	174	1.2%	260	1.6%	49.5%
経常利益	174	1.2%	255	1.6%	46.2%
当期純利益	58	0.4%	131	0.8%	126.7%

アイ・カフェ事業の拡大  
(アイ・カフェ店舗数の増加およびインターピア株の子会社化(04/9)の影響)

古本市場事業、アイ・カフェ  
事業における利益率の改善

## 【単体損益計算書】

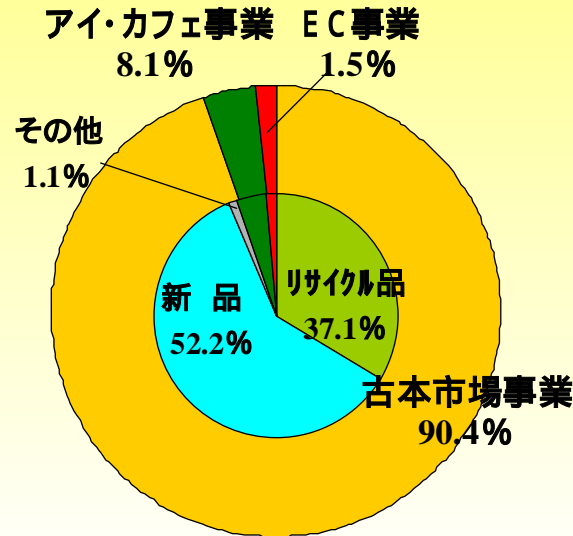
(百万円)

	2005年2月期 中間期(04/3~8)		2006年2月期 中間期(05/3~8)		前期比
売上高	13,070	100.0%	14,667	100.0%	12.2%
売上総利益	3,845	29.4%	4,089	27.9%	6.3%
営業利益	191	1.5%	234	1.6%	22.8%
経常利益	180	1.4%	222	1.5%	23.0%
当期純利益	87	0.7%	97	0.7%	10.8%

# 2006年2月期 中間期品目別売上高・売上総利益【連結】

## 売上高、構成比

新品内訳	百万円	
	05/2	06/2
新刊書籍	426	367
新品ゲーム	6,123	6,687
新品CD	537	506
新品DVD	666	781
その他	65	65
合計	7,819	8,408

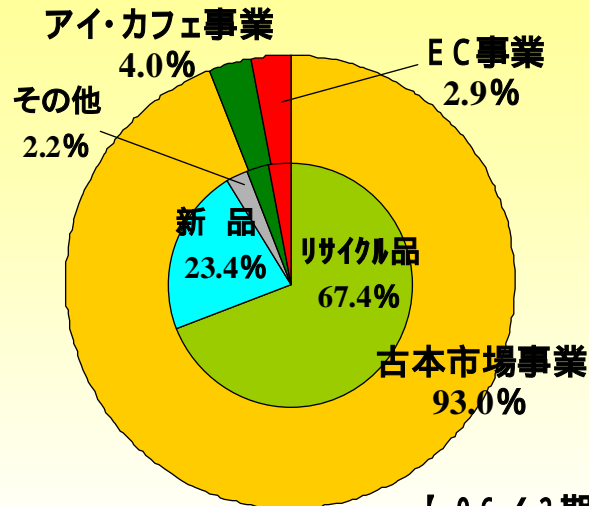


リサイクル内訳	百万円	
	05/2	06/2
古本	2,079	2,139
中古ゲーム	2,484	2,884
中古CD	530	438
中古DVD	440	514
合計	5,534	5,977

【06/2期中間期 構成比】

## 売上総利益、構成比

セグメント別	百万円	
	05/2	06/2
古本市場事業	4,144	4,197
リサイクル	3,035	3,041
新品	1,018	1,056
その他	90	99
アイ・カフェ事業	-61	182
EC事業	97	130
合計	4,179	4,510



【06/2期中間期 構成比】

## 2006年2月期 中間期事業別業績

### ■事業セグメント別売上高

(百万円)

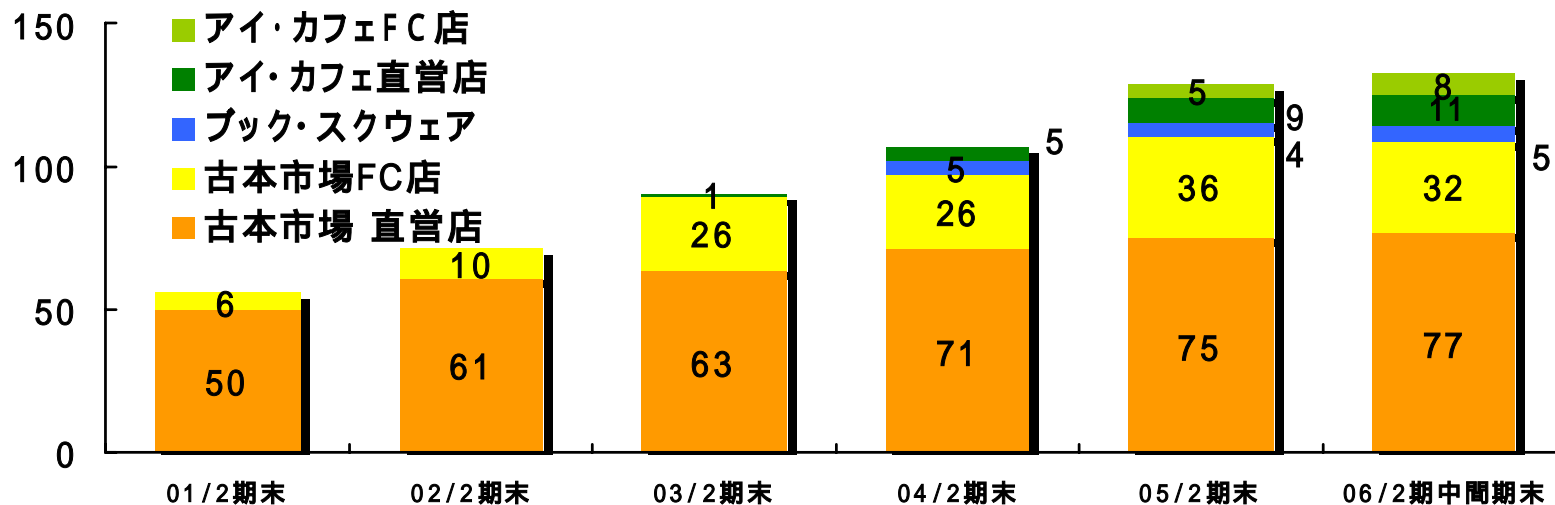
	2005年2月期 中間期(04/3～8)	2006年2月期 中間期(05/3～8)	増減率
連結売上高	14,200	16,107	13.4%
古本市場事業	13,566	14,566	7.4%
アイ・カフェ事業	417	1,302	212.1%
EC事業	216	238	10.3%

### ■事業セグメント別営業利益

(百万円)

	2005年2月期 中間期(04/3～8)		2006年2月期 中間期(05/3～8)		増減率
連結営業利益	174	1.2%	260	1.6%	49.5%
古本市場事業	627	4.6%	785	5.4%	25.1%
アイ・カフェ事業	133	32.1%	101	7.8%	-
EC事業	5	2.4%	2	1.2%	-
消去又は全社	324	-	420	-	-

# 2006年2月期 中間期 出店状況



	05 / 2期	06 / 2期 中間期				増減数
	期末	出店	退店	形態変更	期末	
古本市場直営店	75	+ 1	0	+ 1	77	+ 2
古本市場FC店	36	0	3	1	32	4
ブック・スクウェア	4	+ 1	0	0	5	+ 1
アイ・カフェ直営店	9	+ 2	0	0	11	+ 2
アイ・カフェFC店	5	+ 3	0	0	8	+ 3
合計	129	+ 7	3	0	133	+ 4

形態変更は、(株)ブック・スクウェア中部がFC店として運営していた店舗を、同社の吸収合併に伴い直営店に区分しなおしたものであります。



# 計画未達の要因と対策

## 上期出店計画の未達・下期出店計画の見直し

	期初出店計画			修正後出店計画			修正数		
	上期	下期	年計	上期	下期	年計	上期	下期	年計
古本市場直営店	4	1	5	1	3	4	3	+ 2	1
古本市場FC店	5	8	13	0	4	4	5	4	9
ブック・スクウェア	1	0	1	1	0	1	± 0	± 0	± 0
アイ・カフェ直営店	7	4	11	2	3	5	5	1	6
アイ・カフェFC店	6	4	10	3	8	11	3	+ 4	+ 1

### FC店出店

- ・アイ・カフェFCに対する関心が非常に高く、FC加盟店開発は、当面アイ・カフェに重点を置いて展開。 **アイ・カフェFCに関しては下半期8店舗の出店を計画**
- ・古本市場FCに関しては、既存加盟法人の多店舗化、店舗運営力のある有力法人にターゲットを絞って営業活動を展開

### アイ・カフェ直営店出店

- ・上半期は、アイ・カフェFC出店拡大のための体制作りに注力

# 2006年2月期 中間期 公表値対比

【連結】

(百万円)

	計 画		実 績		達成率
売上高	16,450	100.0%	16,107	100.0%	97.9%
営業利益	176	1.1%	260	1.6%	147.9%
経常利益	151	0.9%	255	1.6%	169.3%
当期純利益	69	0.4%	131	0.8%	190.6%

【事業セグメント別】

(百万円)

	計 画	実 績	達成率
<b>連結売上高</b>	<b>16,450</b>	<b>16,107</b>	<b>97.9%</b>
古本市場事業	14,740	14,566	98.8%
アイ・カフェ事業	1,445	1,302	90.1%
EC事業	265	238	90.0%
<b>連結営業利益</b>	<b>176</b>	<b>260</b>	<b>147.9%</b>
古本市場事業	777	785	101.1%
アイ・カフェ事業	219	101	-
EC事業	15	2	-
消去又は全社	397	420	-

出店の未達など

直営店の出店未達による  
出店費用の未発生、  
インターピアの好調

## 2006年2月期 中間期 貸借対照表【連結】

	2005年2月期末		2006年2月期末 中間期末		増減額 (百万円)
<b>流動資産</b>	<b>5,971</b>	<b>53.2%</b>	<b>5,774</b>	<b>52.4%</b>	<b>197</b>
現金・預金	1,445	12.9%	1,141	10.4%	304
たな卸資産	3,704	33.0%	3,759	34.1%	54
その他	822	7.3%	875	7.9%	53
<b>固定資産</b>	<b>5,252</b>	<b>46.8%</b>	<b>5,243</b>	<b>47.6%</b>	<b>8</b>
有形固定資産	2,478	22.1%	2,405	21.8%	73
無形固定資産	365	3.3%	346	3.1%	19
投資その他	2,408	21.5%	2,492	22.6%	84
<b>総資産</b>	<b>11,222</b>	<b>100.0%</b>	<b>11,017</b>	<b>100.0%</b>	<b>205</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,710</b>	<b>42.0%</b>	<b>4,335</b>	<b>39.3%</b>	<b>376</b>
買掛金	1,209	10.8%	1,274	11.6%	65
短期借入金	2,165	19.3%	1,969	17.9%	196
その他	1,336	11.9%	1,092	9.9%	244
<b>固定負債</b>	<b>2,398</b>	<b>21.4%</b>	<b>2,405</b>	<b>21.8%</b>	<b>7</b>
長期借入金	2,071	18.5%	2,053	18.6%	19
その他	326	2.9%	352	3.2%	26
<b>株主資本</b>	<b>3,872</b>	<b>34.5%</b>	<b>4,002</b>	<b>36.3%</b>	<b>129</b>

【参考】

設備投資額(連結) 304百万円

減価償却費(連結) 243百万円

# 2006年2月期 中間期 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	05年2月期 中間期	06年2月期 中間期
営業キャッシュ・フロー	337	336
投資キャッシュ・フロー	723	426
財務キャッシュ・フロー	803	213
現金及び現金同等物の増減額	257	303

## 営業キャッシュフロー

- 税金等調整前中間純利益の増加

## 投資キャッシュフロー

- 直営店の新規出店の減少

2005年2月中間期: 古本市場4店舗、アイ・カフェ3店舗

2006年2月中間期: 古本市場1店舗、ブック・スクウェア1店舗、アイ・カフェ2店舗

## 財務キャッシュフロー

- 短期借入金の返済に伴う減少

# TAY TWO

2006年2月期 業績見通し

■連結通期予想

期初計画から変更ありません

【ご参考】

(百万円)

	2005年2月期 実績		2006年2月期 計画		増減率
売上高	33,630	100%	37,450	100%	11.4%
営業利益	790	2.3%	805	2.1%	1.9%
経常利益	771	2.3%	775	2.1%	0.5%
当期純利益	406	1.2%	410	1.1%	0.9%

EPS	8,152円	809円
BPS	94,305円	9,163円
ROA	7.4%	6.4%
ROE	10.5%	9.6%

\*2006年2月期のEPS及びBPSは、1:10の株式分割後の株式数にて算出しております。

■連結四半期予想

(百万円)

	上半期実績	第3四半期	第4四半期	下半期	通期
売上高	16,107	8,473	12,870	21,343	37,450
営業利益	260	169	376	545	805
経常利益	255	157	363	520	775
当期純利益	131	87	192	279	410

■単体通期予想

期初計画から変更ありません

【ご参考】

(百万円)

	2005年2月期 実績		2006年2月期 計画		増減率
売上高	31,112	100%	34,700	100%	11.5%
営業利益	803	2.6%	730	2.1%	9.4%
経常利益	780	2.5%	692	2.0%	11.3%
当期純利益	350	1.1%	375	1.1%	7.1%

EPS	7,094円	740円
BPS	80,780円	8,842円
ROA	8.3%	6.4%
ROE	9.0%	8.8%

\*2006年2月期のEPS及びBPSは、1:10の株式分割後の株式数にて算出しております。



■単体四半期予想


(百万円)

	上半期実績	第3四半期	第4四半期	下半期	通期
売上高	14,667	7,831	12,202	20,033	34,700
営業利益	234	120	376	496	730
経常利益	222	106	364	470	692
当期純利益	97	63	215	278	375

TAY TWO

參考資料

# 会社概要

社名	株式会社テイツー (英訳名 TAY TWO CO.,LTD.)
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日:JASDAQ
本社	岡山県岡山市今村650-111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1秀和芝パークビルA館8F (2005年10月開設)
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取及びビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイト  古本市場 <a href="http://www.ubook.co.jp">www.ubook.co.jp</a> の運営(連結子会社:(株)ユーブック)
グループ会社	株式会社ユーブック、株式会社アイ・カフェ、インターピア株式会社、
従業員数	正社員364人、パート・アルバイト1,156人、計1,520人(2005年8月末現在)
資本金	1,149百万円(2005年8月末現在)
発行済株式数	546,800株:単元株制度なし(2005年8月末現在)
株主数	6,272名(2005年8月末現在)

# Mission

---

## 経営理念

**「満足を創る」**

## スローガン

**Customer Value Creation ~ 顧客価値の創造 ~**

## 行動指針

### **ティツーの七感**

- ・変化を観る「目」をもつ
- ・お客様の声を聴く「耳」をもつ
- ・親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- ・自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- ・常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- ・お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- ・お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

テイツー・グループ・スローガン

# Customer Value Creation

## ～ 顧客価値の創造 ～

本資料は、2006年2月期中間期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2005年10月18日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口：経営企画部 片山 靖浩・冨矢 武志

TEL03-5408-5532 FAX03-5408-5501

E-mail: [ir@tay2.co.jp](mailto:ir@tay2.co.jp)

URL: <http://www.tay2.co.jp>